

# 今年のカエル事情

地球の温暖化による暖冬が続いており、拙宅の小さな金魚池の結氷状態でも、その傾向を感じています。32年前に池を作ってからしばらくは、毎年ある期間大人が乗っても割れない程の氷が張り(冬は陽があたらないため)でしたが、最近は朝のうちだけ薄氷が張る日が何日かある程度(今年は15回ほど)です。

いつ頃からかヒキガエルが産卵に現れるようになり、毎年しばらくの間オタマジャクシを眺めています。多少でこぼこはあるが、周囲の宅地化が進むのにつれて現れる親蛙の数が増え、今年は10匹以上にもなりました。啓蟄前後か少し遅く、夜間の鳴き声で蛙の出現を知りますが、日陰の庭のせいか桜の開花などと、はっきりした関係はつかんでいません(記録をとっていない)が、今年は早く(2/22)に現れ、遅く(4/3)まで蛙が鳴いていたり、産卵も3回あり、その間が11日にも亘ったのが、これまでと違うように感じました。

今年、都内の公園で2月(季節はずれ)に蛙がはねていたのを見た、と新聞(4/17 読売・見晴台)に報じられていたが、早い出現に気づいた人が他にも居られたようだ。坂本さんから美術館横の赤塚自然池ができたから5年間の、蛙と卵の初観察記録を頂いたので、拙宅の庭の記録と合わせて表にしました。

赤塚自然池では、これまでも産卵が確認されながら、オタマジャクシになる前に消えてなくなるものがほとんどです。今年はオタマジャクシがみられたのですが、4月の半ばに全部いなくなりました。ザリガニや野鳥、放された大きな鯉(金魚は食わないんですが)などの外敵と、人間の子供などが考えられます。

自然界で生きていくということは、本当に厳しいんですね。(猪鼻 昭二)

## ヒキガエルとその卵初観察記録

年	自然池		徳丸6丁目の池	
2004	2/28 3/7 3/27 3/31	蛙がいて卵あり 同上 (3/31 乗蓮寺池に蛙1匹いた) 蛙がいたが、卵は消え失せた 20匹ほどオタマがいたが 4/19 消えた	2/22 3/7 4/3	蛙出現 産卵(3/19までに3回産む) 鳴き声が消える
2003	2/22 3/1	蛙がいた 蛙がいて卵があった	3.23 3/26	蛙出現 産卵
2002	3/2	蛙がいた	3/31	蛙いた(留守期間あり)
2001	3/4	蛙がいた	3/7 3/20	蛙1匹死体で発見 産卵
2000	3/5 3/20	蛙出現 卵あり		
1999			3/15	産卵
1998			2/28	蛙出現(産卵はあるも記録なし)
1996			2/28	蛙出現(同上)
1993			3/27	産卵